



ポタリちゃんが教えてくれる!

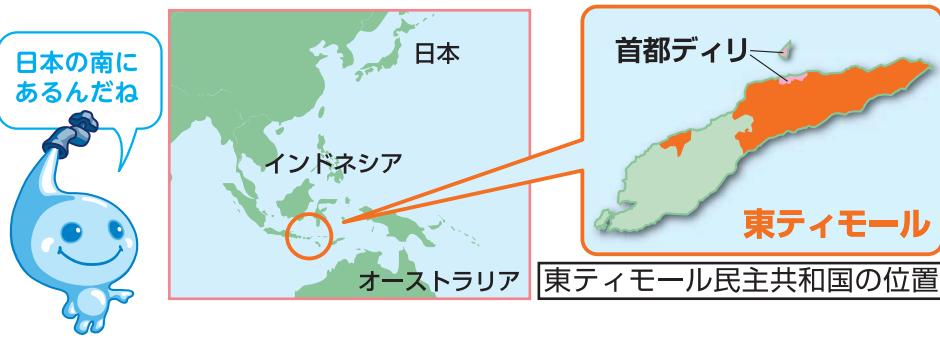
世界の水道事情



こんにちは!千葉県水道局のポタリちゃんです!
 みんなが今飲んでいる水道水、日本ではきれいな水が出てくるけど、ほかの国ではどのようになっているか考えたことはあるかな?
 今回は、水道局が水道技術の支援を行っている、東ティモールという国を紹介するよ!

1 東ティモールとは?

東ティモール(東ティモール民主共和国)は、日本の南約5,000km、オーストラリアの北、赤道直下に位置し、2002年にインドネシアから独立した若い国だよ。人口は約121万人、面積は約14,900km²(千葉県の約3倍の面積)なんだ。日本と違って四季がなく、乾季と雨季の区別があるよ。日中の最高気温は一年を通じて30℃台と比較的高温だよ。



2 東ティモールの水道事情

東ティモールでは、インドネシアから独立するとき、騒乱や暴動などにより、浄水場などの水道施設が破壊されてしまったんだ。さらに、それまで浄水場の運転などを行っていたインドネシア人技術者が本国へ帰ってしまったので、浄水場では安全な水道水が作れず、また、水を配るための水道管は漏水をおこすなど、人々は十分な水道水を使うことができなかったんだ。

それでも生活するには水が必要だから、現地では女性や子供が水汲みをしているんだ。洗濯をするにも離れた場所に行かなきゃいけなかったり、十分な水道水が使えないと、不便なことがたくさんあるんだ。



地上にでてきた漏水



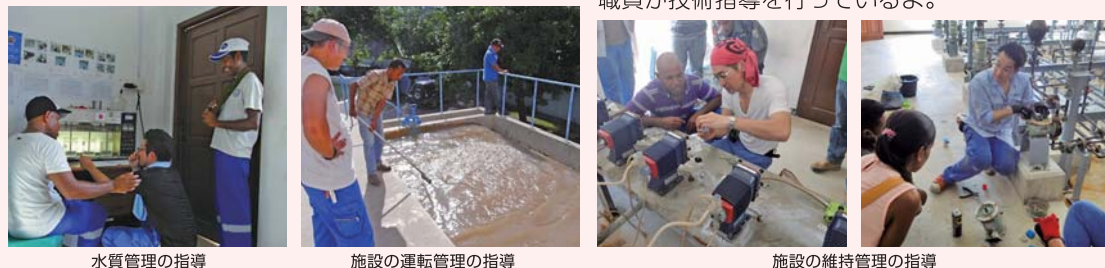
とっても大変だね

3 千葉県水道局の東ティモール水道への支援

東ティモールは、自国の水道を良くするために日本政府に支援を求めたんだ。そこで、JICA(独立行政法人国際協力機構)が、千葉県水道局に技術指導の支援を要請し、千葉県水道局では2012年度から東ティモールへ職員の派遣を始めたんだ。千葉県水道局は、浄水場の運転・水質管理、24時間給水の実現、水道を運営するための体制づくりなどの問題に、今も引き続き取り組んでいるよ。

I 浄水場の運転・水質管理への取り組み

浄水場を正しく運転できるように、千葉県水道局職員が技術指導を行っているよ。



II 24時間給水の実現への取り組み

水道水が人々のところに届くよう、水道管に詳しい職員を現地に派遣して、漏水している水道管の見つけかた、修理のしかたなどの技術指導を行っているよ。その結果、首都デシリの一部で、水道水を24時間届けることができるようになったんだ。



水道管工事の指導

遠くに水汲みに行かなくても、自宅で洗濯できるようになったよ

III 水道を運営するための体制づくりへの取り組み

JICAが東ティモールで開催したセミナーで、千葉県水道局の局長が、現地政府の人たちに、水道の運営がより良く行えるよう講演を行ったんだ。この講演は翌日の新聞やニュースで紹介されたよ。



今年で80周年を迎えるわたしたち千葉県水道局。
 80年間に渡って安心安全な水道水を作り続けた技術力を世界に役立てられるよう、これからもがんばっていきます!

工業用水道事業が水道局に移管されました

県の行政改革の一環として企業庁が改組されたことに伴い、工業用水道事業が企業庁から水道局に移管されました。水道事業と工業用水道事業はそれぞれ独立採算制をとり、自立した経営を行っていきます。

工業用水ってなに?

製造業や電気・ガス・熱を供給する工場で、製品等を洗ったり冷やしたりするために使われる水です。河川やダム等から原水を取水し、浄水場で凝集剤を注入して原水中の不純物を沈でんさせて供給しています。産業を支えるほか、地下水の過剰な汲み上げによる地盤沈下を防ぐ役割も担っています。

水道水とどこが違うの?

どちらも河川などの水を原料に利用していることは変わりません。水道水は飲用に使用できるように、高度浄水処理・ろ過処理・塩素処理等を行っている一方、工業用水は飲料用ではない分、水道水と比較して処理コストが低く、安価に供給できる点が違います。

URL: <http://www.pref.chiba.lg.jp/cate/ssk/kigyoyuuchi/kousui/index.html>

